

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 第 3 回 高大連携委員会
議事次第

日 時 : 2024 年 11 月 18 日(月)持ち回り開催

回答期限: 2024 年 11 月 25 日(月)正午

委 員 校: 関西国際大学(委員長校)、神戸親和大学(副委員長校)
関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、
神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、
流通科学大学
計 17 大学

記

I. 審議事項

1. 2024 年度 高大連携委員会自己評価(案)について (資料 1)
標記に関し、中村理事長から各事業委員会に、資料 1-1 のとおり依頼があった。
資料 1-2「2024 年度 高大連携委員会自己評価(案)」について審議。

II. 報告事項

1. 「ひょうご高校大学コンソーシアム 2024・合同進学説明会
～総合型選抜と進路指導 大学はどのような学生を求めているのか～」実施報告について
(資料 2)

III. 連絡・調整事項

1. 2024 年度 高大連携委員会開催予定と主な議題について
第 4 回委員会 2 月: 2025 年度 事業計画・予算案(案)について
第 5 回委員会 3 月: 2025 年度 事業報告・決算(案)について

以上

<資料一覧>

資料 1-1: 事業委員会における 2024 年度事業の実施内容(結果)と自己評価の作成について(依頼)

資料 1-2: 2024 年度 高大連携委員会自己評価(案)

資料 2 : 「ひょうご高校大学コンソーシアム 2024・合同進学説明会 ～総合型選抜と進路指導
大学はどのような学生を求めているのか～」 報告書およびアンケート集計結果

2024 年 11 月 吉日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会 委員長 各位

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
理事長 中村 恵

事業委員会における 2024 年度事業の実施内容（結果）と自己評価の作成について（依頼）

拝啓 晩秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当コンソーシアムの活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当コンソーシアムでは、各事業委員会にて実施いただきました事業について「自己評価」を作成していただき、その内容をもとに企画運営委員会及び理事会にて事業の継続・改善等を検討することとしております。

つきましては、当コンソーシアムの活動の更なる充実のため、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

敬具

記

1. 各事業委員会への依頼内容と提出期限について

依頼内容：2024 年度事業の実施内容（結果）と自己評価の作成、提出

2024 年度事業計画（添付 1）に基づき、プログラムごとに実施内容（結果）と自己評価を作成してください。12 月以降に実施予定のプログラムについては、進捗状況を具体的に記入ください。

提出期限：12 月 5 日（木）正午

2. 今後のスケジュール

- （1）ひょうご産官学連携協議会の構成員である兵庫県及び経済団体（兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業家同友会、兵庫県中小企業団体中央会）の意見聴取：12 月
- （2）第 9 回企画運営委員会による事業改善提案の検討：12 月
- （3）第 5 回理事会による事業改善提案の審議：1 月
- （4）各事業委員会へのフィードバックと 2025 年度事業計画・予算提出依頼：1 月
- （5）第 11 回企画運営委員会にて 2025 年度事業計画・予算検討：2 月
- （6）第 6 回理事会による 2025 年度事業計画・予算審議：3 月
- （7）ひょうご産官学連携協議会にて、2025 年度事業計画・予算審議：3 月

（添付書類）

- ・添付 1 2024 年度 事業計画（事業委員会別）

以上

【問い合わせ先】大学コンソーシアムひょうご神戸事務局（担当：山本・谷本）

電話：078-271-0233 メール：kanri@consortium-hyogo.jp

【2024年度 高大連携委員会 自己評価】(案)

委員長校	関西国際大学
副委員長校	神戸親和大学
委員校 (全17校)	関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」
達成目標	各年参加校数20校以上
活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上
取組2	加盟校の魅力を情報発信
達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200校以上
活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載 アンケート等の実施/年1回以上

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

予算額	課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続		
	取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」	200,000円
	取組2	加盟校の魅力を情報発信	300,000円

期待される効果

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施
兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下大学と高校の高大連携をめぐる多くの課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築が期待できる。

2. 加盟校の魅力を情報発信
高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

【2024年度 高大連携委員会 自己評価(②取組1)】

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	
達成目標	各年参加校数20校以上	
委員校 (全17校)	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	
活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
「ひょうご高校大学コンソーシアム」の開催 兵庫県下の県下高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催する。 ・県下の大学と高校の高大連携をめぐる具体的な課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。 ・2014年から実施している本取組を継続開催することで、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を図る。	〈活動内容〉 1.兵庫県教育委員会との意見交換会の実施 【実施日】2024/9/2 【参加者】教育委員会高校教育課3名、関西国際大学2名、神戸親和大学1名 2.ひょうご高校大学コンソーシアムの実施 ひょうご高校大学コンソーシアム2024 「総合型選抜と進路指導 大学はどのような学生を求めているのか」 【開催日】2024/9/17 【会 場】(ハイブリット開催) 兵庫国際交流会館 1階 Nadacom Station/オンライン:ZOOM 【参加者】総計67名(加盟校:22校26名、高校:29校40名、兵庫県教育委員会:1名) 今年度は「合同進学説明会」(取組2)と同時開催された。昨年度の参加者(高校教員)から総合選抜における探究学習の成果の評価について関心が寄せられたことを受け、第1部では総合型選抜に特化した「合同進学説明会」を、引き続き開催された第2部では、大学教職員と高校教員5～6人が1グループとなり、自由な意見交換ができるセッションを2回実施した。第1部の大学の総合型選抜に関する説明についての質疑応答のほか、高校の先生方の日常の授業や進路指導における実状をふまえた意見交換が各グループで活発に行われた。 〈自己評価〉 2014年度から兵庫県立学校長協会ならびに兵庫県教育委員会と連携を続けながら、高校と大学の教職員が一同に会して、今日的な高大接続や高大連携の課題について、率直な意見交換を継続していることは、高校と大学の教職員の相互理解を深める観点でも貴重な機会となっている。2024年11月現在、本プログラムは、当初計画通りに進行しており、継続すべきと考える。	
達成目標に対する実績	参加校数22校	
活動指標に対する実績	年1回実施	
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
200,000円	35,600円 (※10月末現在)	164,400円 (※10月末現在)		
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※
自己評価基準:対到達目標
4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

※
自己評価基準:対継続性

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

【2024年度 高大連携委員会 自己評価(②取組2)】

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	
達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	
委員校 (全17校)	加盟校の魅力を情報発信	
活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
県内大学等の情報提供の実施 高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。 さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と、主体的に学び続ける意欲を高めるべく、合同進学説明会、アンケートの実施や、大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページに「オープンキャンパス」「まなび発見マップ」「探究学習」「学園祭」等の情報を掲出する。	〈活動内容〉 1.合同進学説明会の実施 合同進学説明会「大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における総合型選抜について」 【開催日】2024/9/17 【会 場】(ハイブリット開催) 兵庫国際交流会館 1階 Nadacom Station/オンライン:ZOOM 【参加者】総計67名(加盟校:22校26名、高校:29校40名、兵庫県教育委員会:1名) 大学への進路選択に向けて高校教員を対象とした共同の説明会を実施。今年度は、ひょうご高校大学コンソーシアム(取組1)と同時開催され、第1部では総合型選抜に特化した「合同進学説明会」が行われ、自学の総合型選抜の特徴や合格させたい学生像、面接等で重要視していること、アドミッションポリシーに関わる内容について各大学より説明があった。引き続き開催された第2部では、大学教職員と高校教員がグループに分かれ、自由な意見交換ができるセッションを2回実施した。セッションでは第1部の大学の総合型選抜に関する説明についての質疑応答も行われ、高校での生徒の学びと大学での学びのつながりについて、理解を深める機会となった。 2.県内大学等の情報提供の実施 コンソHPにて各大学の「オープンキャンパス」、「学園祭」、「学び発見マップ」(学部学科情報)、「知りたい! 探究学習」(高大連携における探究学習支援に取り組む加盟校の紹介)等の情報を発信することで、コンソ加盟校の魅力を伝え、オープンスクール等のイベントへの参加を促すきっかけツールの役割を果たしている。 また「ひょうご高校大学コンソーシアム2024」「合同進学説明会」開催の情報を兵庫県立学校長協会を通して県下の高等学校に提供した。 〈自己評価〉 高校と大学の学びの接続、教育の連携の観点から、高校・高校生等に加盟校の特徴を広く情報提供することは、重要な課題と考える。高校と大学の意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等での教職員間の議論や意見をふまえて、コンソーシアムホームページ上で加盟校の情報発信等に取り組むことは、次年度以降も継続する必要があると考える。	
達成目標に対する実績	情報提供先数:(兵庫県立学校長協会にて)50か所 年度内に新たに情報提供を行い200か所以上達成予定	
活動指標に対する実績	コンソホームページへの情報掲載年1回	
自己評価基準:対到達目標 ※	3	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
300,000円	0円(※10月末現在)	300,000円(※10月末現在)		
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※
自己評価基準:対到達目標
4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

※
自己評価基準:対継続性

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

ひょうご高校大学コンソーシアム 2024 合同進学説明会
～総合型選抜と進路指導 大学はどのような学生を求めているのか～ 報告書

主催：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
後援：兵庫県教育委員会

1. 日時：2024 年 9 月 17 日（火）14：00～17：00
2. 場所：兵庫国際交流会館 1 階 Nadacom Station/オンライン（ZOOM）
3. 対象：大学コンソーシアムひょうご神戸の加盟校教職員、兵庫県下の高等学校教員
4. 参加者：総計 67 名（会場 56 名、オンライン 11 名）

加盟校…22 校 26 名

大手前大学/大手前短期大学(2)・関西国際大学(5)・関西学院大学/関西学院短期大学(1)・甲南大学(2)・
神戸学院大学(1)・神戸芸術工科大学(1)・神戸国際大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(1)・神戸女学院大学(1)・
神戸女子大学/神戸女子短期大学(1)・神戸親和大学(2)・神戸常盤大学(2)・神戸薬科大学(1)・頌栄短期大学(1)・
宝塚医療大学(1)・兵庫大学/兵庫大学短期大学部(1)・兵庫教育大学(1)・流通科学大学(1)

高校…29 校 40 名

兵庫県立明石西高等学校(1)、兵庫県立網干高等学校(2)、兵庫県立淡路三原高等学校(1)、兵庫県立家島高等学校(2)、
兵庫県立伊川谷北高等学校(1)、伊丹市立伊丹高等学校(1)、兵庫県立伊丹北高等学校(1)、兵庫県立神戸甲北高等学
校(2)、兵庫県立神戸高塚高等学校(1)、神戸龍谷高等学校(1)、兵庫県立国際高等学校(1)、兵庫県立須磨友が丘高
等学校(1)、兵庫県立星陵高等学校(3)、兵庫県立高砂南高等学校(1)、兵庫県立但馬農業高等学校(1)、兵庫県立龍
野北高等学校(1)、兵庫県立龍野北高等学校（定時制課程）(1)、兵庫県立千種高等学校(2)、兵庫県立西宮甲山高等
学校(1)、兵庫県立西脇工業高等学校(3)、兵庫県立浜坂高等学校(1)、兵庫県立播磨南高等学校(1)、兵庫県立東灘
高等学校(1)、兵庫県立姫路西高等学校(3)、兵庫県立姫路東高等学校(1)、兵庫県立兵庫工業高等学校(1)、神戸市
立葺合高等学校(1)、兵庫県立北条高等学校(1)、兵庫県立御影高等学校(2)

行政…1 団体 1 名

兵庫県教育委員会(1)

5. 開催趣旨

兵庫県内の高校教育、大学教育の一体的な連携に取り組むべく、2014 年度より県下高等学校と大学コ
ンソーシアムひょうご神戸、兵庫県立学校長協会、兵庫県教育委員会が連携して意見交換会「ひょうご
高校大学コンソーシアム」を実施している。昨年度、「高大連携と選抜・探究学習」をテーマとした際
に、探究学習での成果が大学入試の対象となることに多くの高校教員の関心が寄せられた。そこで、本
年度は、総合型選抜に特化した「合同進学説明会」をあわせて実施することで、高校での生徒の学びと
大学での学びのつながりについて、理解を深める機会とした。

6. プログラム

14:00～14:05 開会挨拶：

大学コンソーシアムひょうご神戸 高大連携委員会 委員長校

関西国際大学 副学長 芦沢真五先生

兵庫県立学校長協会 進路指導委員会委員長 姫路西高等学校 校長 千家弘行先生

兵庫県教育委員会 高校教育課 主任指導主事 岡本由佳子先生

14:10～15:20 第1部：合同進学説明会～大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における

「総合型選抜」について～

大手前大学/大手前短期大学・関西国際大学・甲南大学・神戸学院大学・神戸国際大学・
神戸松蔭女子学院大学・神戸女学院大学・神戸女子大学/神戸女子短期大学・
神戸親和大学・神戸常盤大学・神戸薬科大学・頌栄短期大学・流通科学大学・
宝塚医療大学・兵庫大学/兵庫大学短期大学部・兵庫教育大学・神戸芸術工科大学・
関西学院大学/関西学院短期大学 ※登壇順

15:20～15:30 休 憩

15:30～16:40 第2部：高校と大学の意見交換会「ひょうご高校大学コンソーシアム」

グループセッション(20分間×2回 ※1回目と2回目はグループ変更)

ネットワーキング(20分間×1回)

16:40～16:55 第3部：全体振り返り

16:55～17:00 閉会挨拶

大学コンソーシアムひょうご神戸 高大連携委員会 副委員長校

神戸親和大学 教育学部スポーツ教育学科 アドミッションセンター長 椿武先生

7. 内容詳細

■第1部：合同進学説明会

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校 22 校による総合型選抜についての合同進学説明会を行った。1校3分程度、スライド等を用いて、提供
する内容は、(1)自学の総合型選抜の特徴(2)合格させたい学生像、面接
等で重要視していること、アドミッションポリシーに関わる内容、第2部
意見交換会に向けて「高校の先生に向けてのひとことメッセージ」とし
た。



第1部の様子

■第2部：高校と大学の意見交換会「ひょうご高校大学コンソーシアム」

参加者5～6人が1グループとなり、大学教職員と高校教員が10グルー
プに分かれて、自由な意見交換ができるセッションを2回行った。第1部
の大学の総合型選抜に関する説明についての質疑応答のほか、高校の先生
方の日常の授業や進路指導における実状をふまえた意見交換が各グルー
プで活発に行われた。最後は、ネットワーキングの時間をとり、高校と大
学の教職員が自由に交流できる場を設けた。



小グループで意見交換

■第3部：全体振り返り

意見交換会の締めくくりとして、参加者より、当日の気づきや感想をシェアする時間を設けた。

8. 参加者の感想と考察

事後アンケート計37名(回答率56.1%)の回答において「本セミナーの満足度」は「よかった」「まあまあよかった」が計36名(97.2%)であった。また、「今後の生徒指導や進路指導へ向けて役立つものでしたか」の問いに対して、「役に立った」「ある程度役に立った」と回答した高校教員は計23名(95.8%)であった。高校教員に対しても意義があったことが窺える。

具体的なコメントとして、大学からは「最新の総合型選抜の情報を発信することができた」「高校側の実態について、情報交換ができてよかった」「多くの高校の進路指導担当の先生とコミュニケーションを図ることができた」「小グループでは、かなり本音の話がなされたように思われる」など、現状に各校の即した情報交換ができたようであった。また、高校からは「各大学が力点を置いている点があった」「総合的な探究の時間を拡充させようと思っているので、大学側の考えなどをお聞きすることができてとても参考になった」「1日でたくさんの大学や高校の先生とお話できた」「大学と高校の連携をし、情報共有できた」など、総合型選抜や探究学習に関する日頃の指導上の疑問を解消する機会となっていたといえる。

今回、初試みとして、合同進学説明会と意見交換会を組み合わせたこともあり、大学から「短時間の中で少し、内容を詰め込み過ぎのような気がした。もうすこしゆとりがあってもいい」との声もあった。ほかに、「ポスターセッションのような形式」を提案する意見もあり、今後に向けて限られた時間の中でも公平かつ充実した意見交換・情報提供ができる合同進学説明会の在り方を検討してもよいと考える。

(以下、参加者アンケート抜粋)

Q1：ひょうご高校大学コンソーシアム 2024（全体）はいかがでしたか

- 【大学】高校の先生方の入試に対する考え方が急速に変化していることに気付けた。
- ・探究入試のモデルを数多く知ることができた。他の大学のご担当者との情報共有できた。
- 【高校】大学の担当者の方や他の高校の進路指導担当の方と活発な意見交換ができた。
- ・各大学の総合型選抜の取組について理解が進んだ。また、大学側の率直な考えが聞けた。

Q2：第 1 部「合同進学説明会～大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における「総合選抜」について～」はいかがでしたか

- 【大学】他の大学の総合型選抜入試の要点や特徴についてまとめて伺うことができ、勉強になった。
- ・大学側として、最新の統合型選抜の情報を発信することができた。
- 【高校】短時間で数多くの大学から、総合型選抜に対する考え方や重要視している点を聞くことができ参考になった。
- ・大学側が総合型選抜において高校側に求めていることについて知ることができてよかった。

Q3：会合の内容は、今後の生徒指導や進路指導へ向けて役立つものでしたか

- 【大学】他大学の状況や新しい入試方式は本学にとっても参考になった。
- 【高校】各大学の入試の狙いや求めている人物像を聞くことができてよかった。
- ・各大学の熱意や特徴を生徒に伝えることができる。新たに総合型選抜を取り入れられた大学や、内容が変更になった探究活動を取り入れるなど最新の情報を得ることができた。
- ・総合的な探求の時間を 3 年生まで拡充することが進路にも直結するなど、進路指導のあり方を検討する材料を提供いただけた。大学の求めるものをもとに進路実現に向けたアプローチができる。

Q4：その他（ご意見・感想）

- 【大学】高校・大学によって立ち位置が大きく変わるので、話しづらい点があったと思う。
- ・引き続き、入試や進路のことだけでなく、学び・研究について共にできることを広げていただきたい。
- 【高校】高校・大学の教職員が情報交換する場があるのは良いと思う。参加校が多くなればより良いと思う。
- ・入試でプレゼンを課す大学において、生徒のどの能力を評価しているのか等、具体的な説明があれば良かった。

以上

アンケート提出率

参加校数（校・人数）	51校・66名	63.6%	69.2%	60.0%
------------	---------	-------	-------	-------

アンケート内容	平均得点		
	全体	大学	高校
Q1) ひょうご高校大学コンソーシアム 2024（全体）はいかがでしたか。	3.33	3.50	3.21
Q2) 第1部「合同進学説明会～大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における「総合型選抜」について～」はいかがでしたか。	3.10	3.00	3.17
Q3) 会合の内容は、今後の生徒指導や進路指導へ向けて役立つものでしたか。	3.33	3.38	3.29

■選択理由：Q1（ひょうご高校大学コンソーシアム2024（全体）はいかがでしたか）■

【大学】

- ・高校の先生方から直接率直なご意見を伺う貴重な機会となった。
- ・高校の先生方の入試に対する考え方が急速に変化していることに気付けた。
- ・探求型入試のモデルを数多く知ることができた。
- ・他の大学のご担当者と情報共有できた。

【高校】

- ・大学の担当者の方や他の高校の進路指導担当の方と活発な意見交換ができた。
- ・各大学の総合型選抜の取組について理解が進んだ。また、大学側の率直な考えが聞けた。

■選択理由：Q2（第1部「合同進学説明会～大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における「総合選抜」について～」はいかがでしたか）■

【大学】

- ・他の大学の総合型選抜入試の要点や特徴についてまとめて伺うことができ、勉強になった。
- ・大学側として、最新の統合型選抜の情報を発信することができた。

【高校】

- ・短時間で数多くの大学から、総合型選抜に対する考え方や重要視している点を聞くことができて参考になった。
- ・大学側が総合型選抜において高校側に求めていることについて知ることができてよかった。

■選択理由：Q3（会合の内容は、今後の生徒指導や進路指導へ向けて役立つものでしたか）■

【大学】

- ・他大学の状況や新しい入試方式は本学にとっても参考になった。

【高校】

- ・各大学の入試の狙いや求めている人物像を聞くことができてよかった。
- ・各大学の熱意や特徴を生徒に伝えることができる。
- ・新たに総合型選抜を取り入れられた大学や、内容が変更になった探究活動を取り入れるなど最新の情報を得ることができた。
- ・総合的な探求の時間を3年生まで拡充することが進路にも直結するなど、進路指導のあり方を検討する材料を提供いただけた。
- ・大学の求めるものをもとに進路実現に向けたアプローチができる。

■意見・要望等■

【大学】

- ・高校・大学のレベル感によって立ち位置が大きく変わるので、話づらい点があったと思う。
- ・引き続き、「高校と大学」が入試や進路のことだけでなく、学び、研究について共にできることを広げていただきたい。
- ・高校の先生側が質問しにくそうであった。事前に質問を聞いておき別途回答できるようにする等、改善が必要と思われる。
- ・今後、ポスターセッションのようなスタイルも検討できるかもしれない。

【高校】

- ・入試でプレゼンを課している大学において、プレゼンを通じて生徒のどの能力を評価しているのか等、具体的な説明があれば良かった。
- ・高校・大学の教職員が情報交換する場があるのは良いと思う。参加校が多くなればより良いと思う。
- ・各大学からの説明時間が3分と短く、少なく感じた。
- ・神戸大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学など、国公立の大学の話も聞きたかった。
- ・工業系の大学の話も聞かせてもらいたかった。
- ・開催時期が出願前であれば（例えば6月、7月など）、今年度入試の生徒指導に役立てたと思う。高校によっては、面接や出願指導に活用できると感じた。
- ・本校の生徒の実態から聞いてみたいと思う大学がほとんどなかった。もう少し国公立大学が参加されるとよいと思った。

■今後のテーマ■

- ・高校はどのような生徒を大学に送り出すべきか。
- ・高校での進路指導のあり方について。
- ・各大学の狙い、重視しているところ。